



2020年4月

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2020年4月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2020年4月 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco DNA Spaces ランタイム \(4 ページ\)](#)
- [不具合 \(4 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces は、ワイヤレスのお客様にロケーション分析、ビジネスインサイト、カスタマーエクスペリエンス管理、資産追跡、Bluetooth Low Energy (BLE) 管理、APIなどのロケーションベースのサービスを提供するロケーションサービスクラウドプラットフォームです。さまざまなロケーションベースのテクノロジーとインテリジェンスを通じて、これらの複数のサービスを利用するための単一のダッシュボードインターフェイスを提供します。Cisco DNA Spaces を使用すると、物理的なビジネス拠点で訪問者とつながり、連携することができます。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキング機能は、オンプレミスのアセットを監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、およびAPIを提供します。さらに、Cisco DNA Spaces はパートナープログラムを通じて、さまざまな業界向けのさまざまなアプリを提供しています。Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、または Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco DNA Spaces と Cisco DNA Center の統合に対応しています。
- 現在レポートが完全に刷新され、新しい [Right Now] アプリが導入されました。
- [Impact Analysis] レポートを使用して、ロケーションでの Covid 19 の影響を分析します。
- [OpenRoaming] アプリに、アクティブユーザー数、[Device by Operating System] チャート、[Data Consumed per User] チャートが追加されました。

新機能 : 2020 年 4 月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の新機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに追加されました。

Cisco DNA Center の統合

Cisco DNA Spaces は、Cisco DNA Center と統合するように強化されました。この機能強化により、Cisco DNA Spaces が有効になります。

- Cisco DNA Center からマップを同期するため。
- Cisco DNA Center にロケーション情報を提供するため。

ただし、Cisco DNA Spaces は、2020 年 7 月までに利用可能になる予定の Cisco DNA Center 上にオプションのパッケージを使用して、ベータ機能として統合できます。指定された期間が経過したら、アカウントチームに連絡して、Cisco DNA Spaces オプションパッケージを入手してください。

統合の前提条件は次のとおりです。

- Cisco DNA Center バージョン 2.1.1 以降と Cisco DNA Spaces オプションパッケージ。
- Cisco DNA Spaces コネクタを使用して Cisco DNA Spaces に接続されたワイヤレスネットワーク。

この統合をサポートするために、Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左上に表示される 3 行メニューで新しいオプションの **[Integrations] > [Cisco DNA Center]** が利用できるようになりました。[Create Token] オプションを使用して、インスタンスのトークンを作成できます。その後、Cisco DNA Center でこのトークンを設定して、Cisco DNA Spaces と統合できます。

Right Now

[Right Now] レポートは、行動メトリクスアプリから削除され、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで別のアプリとして使用できるようになりました。この機能強化により、非常に高度な [Right Now] レポートの提供が容易になります。[Right Now] レポートには次のチャートが含まれます。

デフォルトでは、レポートには、現在すべてのロケーションにいる訪問者の詳細が表示されません。ネットワークレベルの場所のデータをフィルタ処理できます。

- **[Active Visitors present]** : フィルタ処理されたロケーションの子ロケーションを含む過去 10 分間の訪問者の総数を表示します。
- **Total Visitors present** : フィルタ処理されたロケーションの子ロケーションを含む過去 3 分間の訪問者の総数を表示します。[Workspaces] 分野の場合、データは過去 10 時間のものになります。

- [Active Visitors present in Key Locations] : 過去 10 分間に、アクティブな訪問者の数が最も多い上位 3 つのロケーションと、アクティブな訪問者の数が最も少ない下位 3 つのロケーションを表示します。
- [Total Visitors present in Key Locations] : 過去 3 時間の訪問者数が最も多い上位 3 つのロケーションと、最も訪問者が少ない下位 3 つのロケーションを表示します。[Workspaces] 分野の場合、データは過去 10 時間のものになります。
- [Visits Cumulative] : 1 日の時間ごとの訪問の合計数を累積的に表示します。
- [Composition: First Time and Repeat Visitors] : アクティブな訪問者のうち、新規訪問者と再訪問者の割合を表示します。
- [Composition: Visitor and Employees] : アクティブな訪問者のうち、訪問者と従業員の割合を表示します。
- [Presence: By Location] : フィルタ処理されたロケーションの子ロケーションの内、アクティブな訪問者のロケーション別の数を表示します。ロケーション別の数は、マップビューとリストビューに表示されます。

機能強化 : 2020 年 4 月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードには、次の変更が加えられました。

影響分析

Covid 19 の影響を **Impact Analysis** アプリで分析できることを通知するために、[Covid 19 Analytics] バナーが [Impact Analysis] アプリタイトルに追加されます。影響を測定するために、デフォルトの **Covid19** イベントが [Impact Analysis] ウィンドウで使用できるようになりました。

OpenRoaming

OpenRoaming アプリの [Statistics] ウィンドウの [Custom] タブに、次の新しいオプションが追加されました。

- [Users Active Right Now] : フィルタリングされたロケーションとその子ロケーションから現在インターネットに接続しているユーザーの総数を表示します。
- [Devices by Operating System] : デバイスのオペレーティングシステムに基づいて、指定された日付範囲中にフィルター処理されたロケーションとその子ロケーションから接続されたデバイスの合計数を示す円グラフを表示します。特定のオペレーティングシステムを搭載したデバイスの合計数は、円グラフでそのオペレーティングシステム名にカーソルを合わせると、円グラフの中央に表示されます。

- [Data Consumed per User] : 指定された日付範囲の各日に各ユーザーが消費した平均データを示す棒グラフを表示します。

Cisco DNA Spaces ランタイム

Cisco DNA Spaces ランタイムには、次の変更が加えられました。

ブラウザでの自動入力の問題

[Data Capture form] が強化され、顧客獲得時の電話番号の自動入力の問題が解決されました。データキャプチャフォームで、自動入力オプションを使用して電話番号を入力した後、国コードが空白になっていました。ブラウザ、Apple Safari および CNA で発生していたこの問題は修正されました。

電話番号データキャプチャフォームのプレースホルダーテキスト

顧客の獲得中に、[Data Capture form] の [Phone Number] フィールドに間違ったプレースホルダーテキストが表示されていました。これは、ダッシュボードポータルで設定された正しいプレースホルダーを表示するように修正されました。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子 : 各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明 : 不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC : 特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvp57525	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している。
CSCvs79627	Meraki カメラ : ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvs97445	ロケーション階層ページでユーザー数が正しく表示されない。
CSCvt29202	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
CSCvt62394	ユーザーは、総面積単位値を選択せずに総面積値を保存することはできない。
CSCvt65983	退席ルールの時間の選択は、各アカウントの業種訪問の終了時間に従って制限する必要があります。
CSCvu01155	UI : 監視セクションからロケーション階層メニューをクリックすると、ユーザーがホームページにリダイレクトされる。
CSCvt99974	Right Now : [Visitor vs Employee] チャートセクションでは、従業員数の割合が少なく表示される。
CSCvt93539	訪問数が少ない場合、[Right Now -Visits by floor] セクションで、フロア名がツールチップテキストに表示されない

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvt83390	アクセスコードを入力せずにフォームを送信すると、エラーメッセージが表示されない。
CSCvt86059	アクセスコード認証中はローディング画面に T&C テキストが表示される。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。